

教科	科 目	単位数	学年・クラス
理科	理科研究	2	3年2組（文）

1 使用教材

使用教科書	改訂版 生物基礎
出版社	数研出版
副教材等	—
出版社	—

2 学習の目標

- 日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、目的意識を持って観察、実験などを行う。
- 生物学的に探究する能力と態度を身に付ける。
- 生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を身に付ける。

3 評価の観点・方法

評価の観点	内 容
① 知識・技能	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。
② 思考・判断・表現	自然の事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現できている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。

評価方法	観点別重要度			主な評価項目
	①	②	③	
定期考査	A	A	C	理解ができているか
小テスト	A	B	B	既習事項を身に付けることができているか
課題	B	B	A	提出状況、理解できているか
授業	C	A	A	授業態度や発表、協調性があるか

※表中の A・B・C は評価の重要性を高い順に表している。

4 学習計画

学期	学 習 内 容	学習のねらい
1 学期	第1章 生物の特徴 第2章 遺伝子とそのはたらき 第3章 生物の体内環境	2年次に学習したことの復習と、学習したことを用いて思考・判断・表現することができる問題を解くことができるようになる。 2年次に学習したことの復習と、学習したことを用いて思考・判断・表現することができる問題が解けたり、人間の生体内で起こる身近な現象を解明したりすることができる。
2 学期	第4章 植生の多様性と分布 第5章 生態系とその保全 探究活動（思考力問題） 探究活動（三崎の動植物）	2年次に学習したことの復習と、学習したことを用いて思考・判断・表現することができる問題を解くことができるようになる。 暗記だけでは解けない、思考力を試す問題を班で協力して解くことができるようになる。 三崎の動植物を調べ、プレゼンを用いて魅力を伝えることができる。
3 学期	探究活動	